

OUJ神奈川学習センター あきだより

通巻第56号

2013年11月16日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



マリンシャトルと国際交流クルーズのみなさん(9面に関連記事)

目次	平成25年度第1学期卒業証書・学位記授与式	2
	平成25年度第2学期入学者の集い	3
	平成25年度神奈川学習センター学生研修旅行	3~ 5
	平成25年10月 学生生活に関するアンケート	6~ 7
	第27回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ	8
	国際交流クルーズ/Kーサポートからのお知らせ/ 研究会等のご案内	9
	学生サークルからのお知らせ/神奈川同窓会だより	10~11
	学習センターからのお知らせ	12

平成25年度第1学期卒業証書・学位記授与式

10月5日(土)神奈川学習センターにて、第1学期の卒業証書・学位記授与式が、行われました。神奈川学習センターの卒業生は、111名、会場には、そのうち57名がつどい、池田所長から一人一人に学位記が渡されました。

式が終了、記念写真撮影の後、同窓会主催の卒業祝賀会が、弘明寺にある「くれば」で開かれました。

「卒業の喜び」

2013年心理と教育コース卒業 伊藤 洋子

10月5日土曜日、2013年度前期放送大学卒業式(学位記授与式)及び卒業終了祝賀会が行われました。この行事に出席できたことを、私は大変光栄に思っております。神奈川学習センターと神奈川同窓会の先輩方のお骨折りで、とても心のこもったあたたかい卒業式でした。池田先生をはじめたくさんの方からお祝いのお言葉をいただき、卒業を実感いたしました。祝賀会では学生同士卒業の喜びを分かち合うことができ、とても楽しい忘れられない一日となりました。卒業生を代表して感謝の気持ちを申し上げます。ありがとうございました。



私は2000年度後期に放送大学教養学部発達と教育コースに入学しました。入学のきっかけは、本屋さんでふと手にした放送大学の案内書を持ち帰ったことでした。とても魅力的な科目がた



くさんあってすぐにでも学びたいと思いましたが、家庭のことや子育てのことなどで精一杯でしたので、学習の時間を持つことができるのか自信がありませんでした。それでも授業案内のシラバスを読むと、どうしても心理学や哲学を学びたい、美術などの美しい世界にふれていたいという気持ちをおさえることができず、少しずついいのだからもう一度学んでみようと思決心してやっと入学したのでした。

学びたかった科目のひとつが哲学です。なかでも、渡邊二郎先生の「人生の哲学」には格別の深い思いを抱いています。教科書のまえがきで先生は「ここに、私は、特別の思いをこめて、放送大学の学生のみなさん、および一般の読者に対して、ささやかな私の新しい書物『人生の哲学』を贈る。」とお書きになっていらっしゃいます。この教科書はそのように内容の美しい書物でもあり、読みながら私は涙をこぼしました。渡邊先生の美しい言葉にふれて、私は自分を再認識することができたのでした。



私を応援し見てくれた家族に卒業の喜びと一番の感謝の気持ちを伝えます。そして、これからもよろしくお願ひします。



平成25年度第2学期入学者の集い

10月5日(土)雨の中、平成25年度第2学期入学式が、神奈川学習センター第8講義室にて開催されました。



神奈川学習センターの新入生は、1,103名。会場には、そのうち168名が集いました。

式は、岡部学長のメッセージ(ビデオ上映)。

池田所長の挨拶がありました。林文字横浜市長の「人は、いつもまでも変わってゆきたい。成長したい。磨きかけた



い。」を引用して「これは、限りない個人的豊かさを自分の中に取り込んでゆきたいと言うメッセージ。一人一人が豊かになることによって社会がそのものが豊かになってゆく。みなさんと一緒に放送大学の中でいろいろなことをやってゆきます。」と話されました。



つづいて、来賓の紹介、教員の紹介、職員の紹介、オリエンテーション、K-サポート紹介、同窓会紹介、サークルの紹介があり、入学者のみなさんは、学生生活の希望を胸に、最後まで熱心に聞き入っていました。

(編集部)

平成25年度神奈川学習センター学生研修旅行

10月11日(金) 快晴の空の下、平成25年度神奈川学習センター学生研修旅行が行われた。参加者は、学生37名、池田所長、影井客員教授、田中客員教授ほか教職員6名、K-サポート事務局1名の計44名。宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター(東京都調布市)と生田緑地(川崎市多摩区)の日本民家園、岡本太郎美術館、かわさき宙(そら)と緑の科学館をめぐり、航空・宇宙を中心に実物に接しながら学ぶとともに、学生、教職員の親睦を深めた。

(編集部)

初めての学生研修旅行に参加して

登坂千尋

雨上がりの晴れ渡る空の下、多摩丘陵を訪ねました。調布にあるJAXAでは未来の超音速機について説明を受け、保存されている本物のYS-11のコックピットに乗り、パイロット気分を味わいました。生田



緑地には日本民家園と岡本太郎美術館、かわさき宙と緑の科学館があります。この緑地は課外授業にも利用されているようで、地元の小学生や外国人の子供たちも多く見られました。日本民家園では趣のある合掌造りの民家(白川郷)で蕎麦の昼食をとり、ガイドの方が園内にある民家について詳しく説明してくださいました。岡本太郎美術館では、解説員の方のお話が大変興味深く、岡本太郎氏を身近に感じることができました。かわさき宙と緑の科学館では、世界に一つしか



ないという大変貴重なプラネタリウム投影機で星空の旅を楽しみました。今年放送大学に入学したばかりで、学



生のみなさんとゆっくりお話するのは今回が初めてでしたが、大変意欲的で親切な方々ばかりでも充実した一日を過ごすことができました。このような研修旅行を準備して下さった皆様にあらためてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

「2013年バス研修旅行チームにサポーターとして参加して」

笹木 正明

1. サポーターとしての感想

バス研修旅行は無事終了したので、サポーターの一人として感想を申し上げます。
サポートチームのメンバーは三国リーダー、村田サブリーダー、植地さん、大木さん、小池さん、島田さん、田丸さん、垣谷さん(Kサポート事務局)、笹木計9名。大学行事なので教務の奥田係長、片野さんが適宜適切な判断とアドバイスを頂いた。旅行の成功には場所の選定が重要と思うが、今回は科学、芸術、歴史分野で中身が濃いものだったと思う。
計画(4月)・実行(10月)まで約6か月なので、きめ細かい日程管理が必要で、旅行前日まで8回の打ち合わせをした。5月には候補地区を絞り下見をして窓口と相談の上6月25日には生田緑地とJAXAに決定。7月18日に役割分担の打ち合わせがあり当日の日程が決定した。集合時間から解散時まで、元ツアーコンでベテランの村田さん中心にしっかりまとめた。進行係の大木さんも分単位で予定表を作成しバス内で説明された。見学地はJAXA、岡本太郎、民家園、プラネタリウム等で馴染みがなく私はD51説明役を選択しました。残された時間は少なくすぐ調査に入りました。
当日、航空宇宙センターまでは予定通りでしたが、交通渋滞でそば屋到着は遅れ気味、最後尾の第4Gは短時間の食事に終わりました。その後の民家園の訪問時間は予定の半分、また科学館の集合も余裕がなかったです。先生方のミニ講義は有意義でした。募集者の受付や保険手続き、下見の運転、バス会社、訪問先窓口との折衝等教務の尽力に感謝します。
アンケートの結果をよく分析し、次回は更に満足度の高い旅行が出来るよう改善する事、出来るだけ多くの

学生に認知してもらい、新規参加申し込みが多くなる事を期待します。

2. 梅小路蒸気機関車館

暑い盛りの8月、京都の梅小路にある蒸気機関車の博物館を訪れました。日本を代表するSL16形式18両が保存され、内7両が動態保存でした。D511等を見て、D51200のSLスチーム号に乗車しました。夏休みなので子供連れで賑やかでした。



3. 鉄道開業から機関車の国産化

鉄道は1830年イギリスで産声をあげ、日本は明治5年(1872)新橋・横浜間で開業した。明治26年(1893)、官設鉄道神戸工場で外国人の指導により860形が国産第一号として誕生した。近代的な製鉄工場がなかったため、台枠板、鋼鉄製の管類などはイギリスからの輸入品を使用した。1896年に汽車製造(1972川重に吸収)、日本車両が設立された。

大正2年(1913)にSLの本格的標準機9600が生まれ、次は本格的な大型貨物機D50が大正12年(1923)に誕生。牽引能力950t、最高速度75kmと大幅の性能強化を実現した。それまでの国産機は薄鋼板による板台枠としていたが、当時の鉄鋼業の進歩により国産による厚鋼の製造が可能になり、初めて強度の優れた棒台枠を採用し、その後の基本構造に取り入れられた。
この間、1911年の関税率改正(5%→20%)により国産化の比率を高めた。1912年度に鉄道省は翌年度以降の新製車両は基本的に指定工場から購入し、機関車につい



でも輸入機を一切採用しない旨決定した。国鉄による代表的車両メーカーの指定工場制(汽車、川崎、日車)、使用側とメーカー側との設計の協調、主要材料の国鉄による一括購入などにより、国産標準形SLの誕生のころには国産SLの生産が軌道に乗った。

4. D51の開発

D51の誕生は、昭和11年(1936)、D50形式の近代化改良版として、車両研究会などの研究調査の成果を加えて、当時の我が国の工業水準を基に、日本形近代化標準機1号として集大成だった。D51は当時の我が国の輸送要請に最も適合した性能で、戦時体制の重点増強もあって10年間に1,115両という、我が国SLの1形式の最多両数を民間・国鉄工場が総力をあけて生産した。

狭軌では最高レベル、1000トンを牽引、最高速度85km。D51は最初の実設計形(93両)、給水温め器を煙突の前においた基本形(755両)、半戦時形と戦時形(267両)に分けられる。

5. 戦争中・戦後でのSL活動と戦時設計

「ポーッ」というSLの汽笛は力強い音色だった。戦中・戦後、鉄道は一瞬も休まなかった。昭和12年(1937)日中戦争勃発、昭和16年太平洋戦争開戦から昭和26年サンフランシスコ講和条約調印までの14年間、激動の日本を走った鉄道も史上最大のドラマだった。船舶が戦地にとられ、道路事情が悪くトラックはまだ少なかったためD51等SLの役割は大きかった。戦時設計の要求があり、昭和14年にはSL代用一覧表を作って広く新製車・修繕車に適用し



た。銅合金が鉄に、皮や石綿が人造材料にと300ヶ所位の品質低下を余儀なくされた。

6. 機関車の記号の見方

機関車の記号は動輪数1~6によりA~Fとし、最初の数字の2桁の50以上はテンダー機。50未満はタンク機。D51は動輪4、テンダー機になります。軸配置1D1。(先輪1軸、動輪4軸、従輪1軸)。

テンダー機とは、運行するために必要な水や石炭を機関車の本体におかず専用のテンダー(炭水車)を機関車本体の後ろに連結した機関車だ。



※文と文中の写真は、個別に対応していないものがあります。ご了承ください。(編集部)



【新任職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに平成25年9月1日付け採用になりました。

どうぞよろしくお願ひいたします。

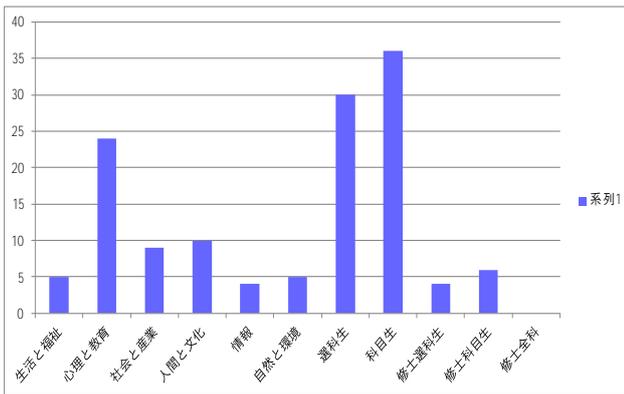
新任事務職員	
総務係員	長坂 瑞栄

平成25年10月 学生生活に関するアンケート K-サポート機関紙編集チーム

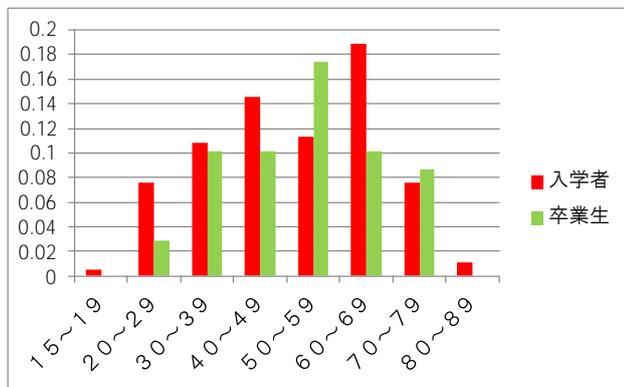
10月5日(土)神奈川学習センターの卒業式には57名の卒業生が集いました。学習センターだより編集部では、前年度同様のアンケートを実施し41名からの回答がありました。回収率は72%。また、同日の入学者の集いには、新入生168名が参加、132名からの回答を得て回収率は、79%でした。

1. 入学生へのアンケート(一部項目は、卒業生のアンケートと比較しています。)

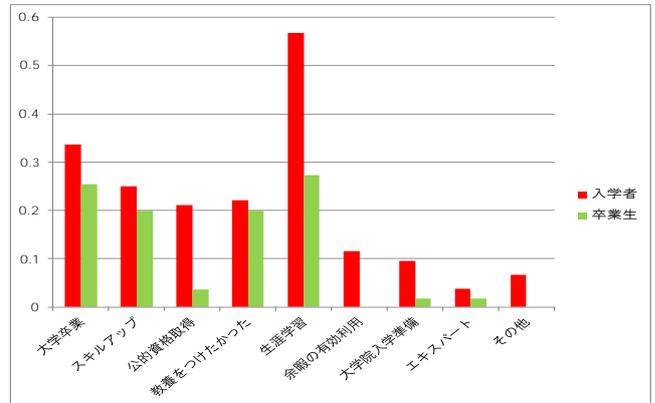
第1問は、学生種別(下図)です。全科生、選科生、科目生の割合は、46%、25%、29%で、昨年と比べて大きな変化は見られません。コースでは心理と教育が突出して多くなり、生活と福祉が激減しています。



つぎに、年齢構成です。(下図)10代から80代まで年代の方がいます。入学生では、60代のピークとなり、次いで40台となって、高齢にシフトしました。卒業生については、50代が多く、20代が少ないのが特徴となりました。

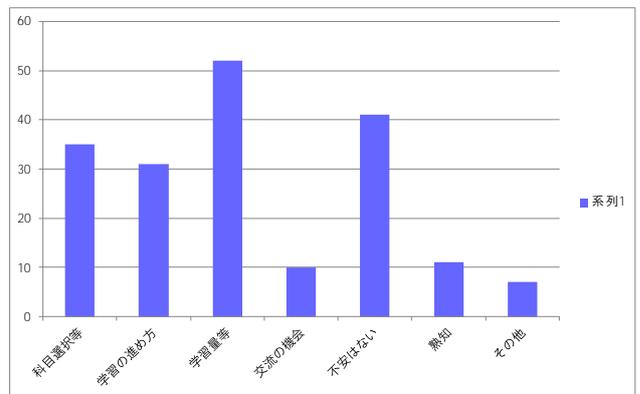


入学動機を見てみましょう。入学生では、生涯学習をあげた方がとても多いですが。卒業生では、生涯学習、大学卒業、キャリアアップ、教養が、近い割合



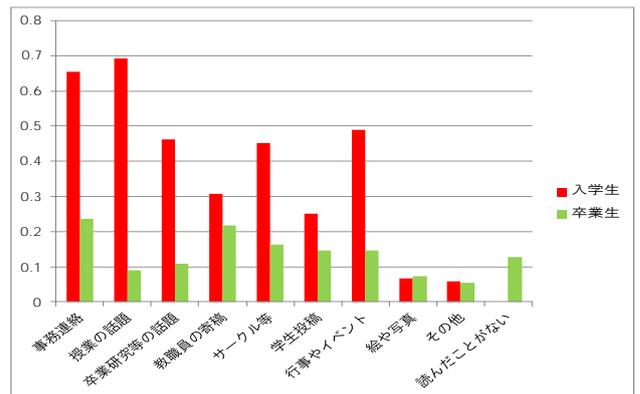
になっています。年齢層は、若干の上昇を示していますが、大学卒業、キャリアアップ、将来のために学習して卒業されている姿がうかがえます。

入学者が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問です。例年より、不安がない、という方と単位取得に必要な学習量が分からない、という回答が多く、入学に際してゆったりと構えている方と、単位認定試験を頭に描いているような方と2極化して



いる可能性もあります。

本誌、学習センターだよりに期待される記事内容は、授業、事務連絡、行事イベント、卒業研究、サークルと続きます。入学生について、今回初めて、授



業をあげる方の割合がトップになり、また、サークルやイベント等の関心が高くなっているようです。入学者の集いの中で、様々な活動について認識が深められたのかも知れません。

卒業生では、教職員の寄稿をあげた方がトップになるなど、入学者との傾向の乖離が大きくなりました。また、読んだことが無いという方も、17%ありました。

○K-サポートへの要望(自由記入欄)

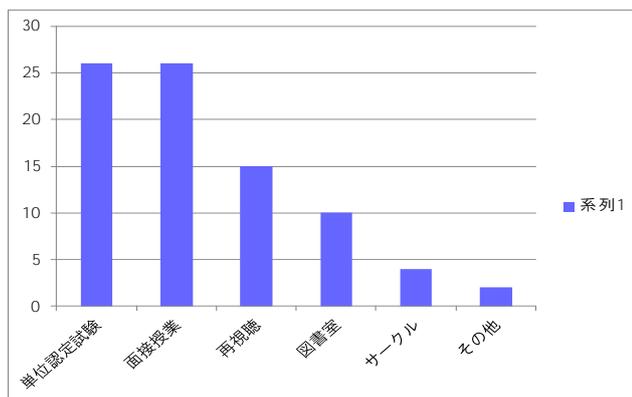
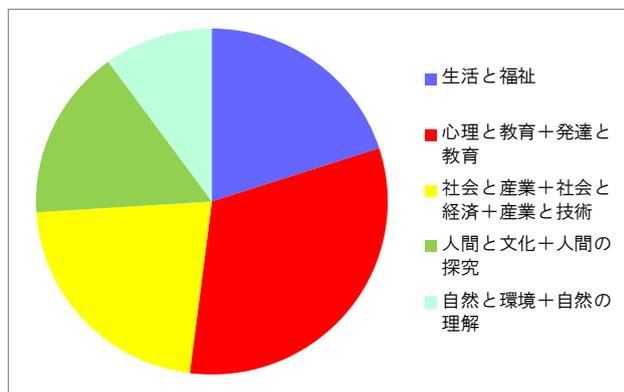
- ・心の折れない、やる気の出し方、スムーズに単位試験をパスする方法が教えてほしい。
- ・くじけそうになったときに、精神的、学習方法のサポートがほしい。

○大学、サークル、その他(自由記入欄)

- ・人生の先輩たちが生き生きしているのを見て刺激を受けた
- ・サークルに入りたいと思う
- ・入りたいと思うサークルが見つからなかった。
- ・入学前から図書室を利用できてありがたい。
- ・入学式は、良い印象でほっとした。

2. 卒業生へのアンケート

所属コース(専攻)は、毎年最多の教育と心理(旧発達と教育)が、さらに割合を増やし40%を占めるにいたりました。また、ほとんどの方が、コースでの卒業

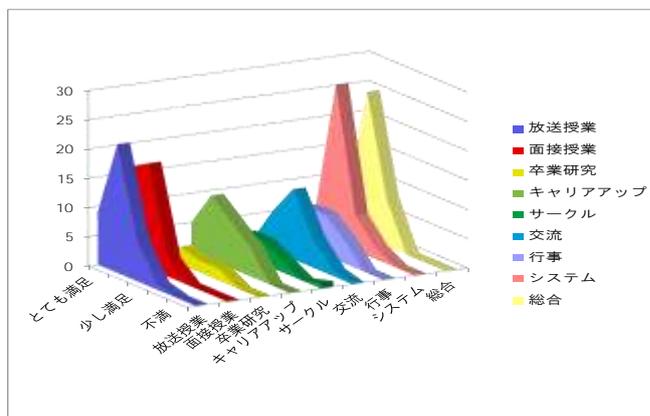


となりコースへの移行が完了しつつあります。

学習センターの利用については、今までと比べて僅かに低調な傾向となりました。面接授業および単位認定試験に限られる方の割合が少し多くなりました。

次に、卒業生が放送大学の授業やシステムと、放送大学での交流についてどのように感じているか、9項目で満足度を伺ってみました。

面接授業、放送授業と授業に対する満足度がとても高い傾向(とても満足と回答された方が多い)は、例年通りです。総合評価や大学のシステム等が、かなり高評価になってきています。また、最近まで見られた、高評価、低評価の2極化の減少は、ほとんど見られなくなりました。卒業研究、サークルに関しては、履修・参加率は低調な傾向は続いています。(神奈川学習センターは、卒業研究履修者は多く、サークル活動も活発です。)



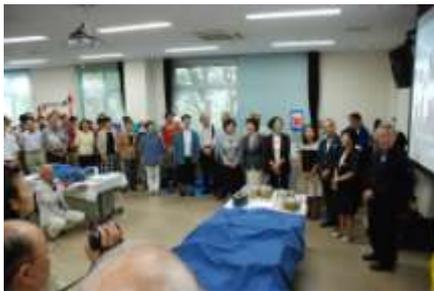
困ったときに誰に相談したか?の問いに(K-サポートは除く)は、誰にも相談しなかった方が前回同様30%に上り、友人・知人に相談した方は前回比半減しています。事務室に相談した方は増加しました。

○大学やK-サポートから、支援を受けたかったこと
 ・テストが難しく1科目単位を落としてしまった。学習について相談しかかったけれど、方法が分からなかった。(注)K-サポートの学習相談を受けたことのある方からの回答。

○自由記入欄
 ・予想以上によい卒業式だった。
 ・長い時間をかけて勉強してきた。はかどったり難しかったりだった。自分にもいろいろなことがあったが、くじけず、なげださずよく頑張ったことをほこらしく思う。なかなか知り合いができなかったが、今は話ができる人がいて嬉しい。
 ・年配の方や障害を持った方の学習姿勢を見て、私もまだまだ頑張れるととても励みになりました。これから看護学士に挑戦します。

第27回神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマ

9月7日(土)～8日(日)フェスタ・ヨコハマが開催された。8日は、池田龍彦所長の記念講演「日本の国際化と開発途上国への協力」と立食パーティー。また、7日は、大岡寄席(柳家喬の字さん、コント青年団さんの出演)、歌声喫茶、ダンスパフォーマンスが行われた



国際交流クルーズ

9月26日横浜港内クルーズ船マリンシャトルで、留学生を中心とする諸外国の人々と、放送大学生、一般市民の交流を目的とした国際交流クルーズが、110名の参加で開催された。なお、このクルーズは、(社)横浜港振興協会のご協力により実現しました。感謝申し上げます。

「国際交流クルーズの感想」

横浜国立大学 劉慧(りゅう けい)

2013年9月26日、神奈川学習センターが行った国際交流クルーズに参加した。日本に来てから一年間にこのような活動は初めて聞



いた。行く前に参加者は大体学生だと思ったけど、目的地に着いた後ちょっとびっくりした。50



代ぐらいの先輩たちは英語で交流していた。その年齢でこんな上手な英語がしゃべるのは

本当に敬服した。その日も日本の歴史、地理についていろいろ勉強した。同じ学校の友達もできた。



日本人の友好と親切は心まで深く感じられた。国際交流は国と国の政府の間のことだけではなく、普通の人たちが参加できることを意識した。その日は留学生の私にとってとても大切な思い出だと思う。



Kーサポートからのお知らせ

○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2013年度第1学期は、**12月22日まで**(11月23日はお休みします)の**土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分**の間、**2階、談話室の相談コーナー**で行います。予約は不要です。

放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。また、11月下旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、
 笹崎、三国、和田
 (50音順、以上、Kーサポート機関紙編集チーム)
 垣谷(Kーサポート事務局)
 石塚(学習センター事務室)

研究会等のご案内

○OKSCいきものがかり

(石橋正彦麻布大学名誉教授主宰の研究会)

生物好きの仲間が集まり、一緒に動物園や博物館を見学し、あるいは探鳥会や磯の観察会、会員の得意とする専門分野の紹介など、楽しみながら学ぶ会です。冬に向かって、伊豆沼に7万羽のガンや白鳥が来ているし、近郊の池などにも冬鳥が多く来ているので、これから探鳥会で忙しくなりそうです。

連絡先は、代表の石橋

(masahikoishibashi@yahoo.co.jp)まで。

学生サークルからのお知らせ

○神奈川放友会

10月5日の後期入学者の集いで8名の新会員を迎えました。10月の月例会(13日)は新会員の歓迎会昼食会を兼ね、「学習に関する情報交換会」を行いました。

秋以降の行事予定

11月6, 13, 23日 パソコン勉強会

11月23日 旅に行こう会

12月15日 忘年会

放友会についてのお問合せ先

事務局長:高橋照夫

e-mail nsjxw765@ybb.ne.jp

○韓国語同好会

★例会のプログラムが変わりました。初心の方ぜひ参加下さい！！

月例会 第1、第3土曜日(原則)

①10:00～11:00 カナダラ(あいうえお)からの韓国語(初級の方対象・現在3名)

②11:20～13:20 中級 途中休憩あり。

③14:00～15:00 簡単なハングルでおしゃべりを！(自主学習の時間、自由参加)

①②は横浜国大客員研究員 金蘭美先生

③は金順漸さん(釜山から来日、日本語学校在学)

★ホームページ <http://www.hangugo-club.org>

★問い合わせ 090-5797-9418(村田)

○拡大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウオーキング部:2ヶ月に1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

○人間学研究会

1. 例会

・12月14日(土)石橋正彦さん
「遊び心を伝えよう」(仮)

・1月12日(日)胡口靖夫さん
第1部「ウズベキスタンの鉄道の旅」
第2部「私の勤務校での日本語教育」

・2月 8日(土)当金彦宏さん『人類最古の講和条約 “カデシュ” ～ヒッタイトとエジプトはどのように戦い、和平を結んだのか～』(仮)

・3月 9日(日)総会

問い合わせ 安田武夫 Tel 045-775-0879

○中国語学習会

少し距離感のある大国、中国、私たちは二人の中国の先生の丁寧な指導のもと、純粋に中国語を愛し学んでいます。学習日に どうぞ見学にいらしてください。

☆学 習 日: 第一、第三日曜日

☆学習時間:10時～12時 中級(告旭平老師)

「本気で学ぶ中国語」使用

13時～15時 初級(唐斌老師)

「301初級」使用

☆ 問い合わせ: 万場(まんば)由美子

046-293-5521

○うえるかむKanagawa

英会話、英語学習、小さな国際交流、海外旅行等英語に夢を持っている人が集まり楽しく学んでいます。

☆例会は毎月第2、第4水曜日(注12月、1月は変更有り)

*12月の例会: 4日午前 Benny class 午後English songs & Group study

11日午前 Benny class 午後*忘年会

*1月の例会:8日、15日(午前、午後 通常例会)午前中はカナダ出身のBenny先生による英会話レッスン

午後はEnglish songsとGroup study

☆午前、午後とも自分に合うグループを選べます。

(詳細は談話室にあるチラシをご覧ください)

☆うえるかむ名画座、ゲスト講演会、懇親会、その他色々な企画があります。

☆活動の様子は下記のHPでご覧下さい。

<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆サークル活動を一度覗いてみませんか。

問合せ:星 礼子 090-4054-8282

reikosunflower@yahoo.co.jp

○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日

時間 午後2時～4時

費用 年会費 入会時に1000円（以後毎年1000円）
レッスン料 月1500円

場所 第7講義室

その他 全科履修生は体育実技(1単位)を取得できます。

レベルの高いステップではなく基本的なステップの組合せで楽しく踊る！を目標に練習に励んでいます。ダンスを始めてみましよう!! きっと新しい世界が開けますよ!

お問い合わせ 放送大学ダンスサークル 宮川
Tel.045-933-9753

○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。

3月、学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学において下さい。

場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)

第1、第3水曜日 午後6時～8時30分

連絡先 家田 0466-34-7545

赤松 044-288-0655

○資格取得研究会

看護・福祉分野を中心にキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、大学卒を目指す看護師の方、看護師国家試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップと認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

・11月17日(日)10:30 神奈川学習センター

・12月、1月、日程未定

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

神奈川同窓会だより

☆～「行くところがある」「会う人がいる」
その場所は同窓会“弘明寺サロン”です～

☆ 同窓会に「会内同好会」が誕生

①太極拳クラブ→1回目11月17日AM大岡センター

②茶道同好会→3回目11月20日大岡センター

③映画研究同好会→11月20日「ローマの休日」

☆ 原則第3水曜日 午前中 各同好会開催
午後“弘明寺サロン”を計画

☆ 同窓会会員の他一般学生大歓迎

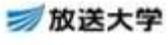
HP:→http://www.geocities.jp/hatoh_net/

お問い合わせ…045-333-4426 金田 保男

放送大学神奈川学習センター

平成26年度4月入学生募集中!

ご家族・ご友人・知人 紹介キャンペーン



多くの方が学ぶ機会を求めています。学ぶ喜びを知らない方も数多くおられます。学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学神奈川学習センターの魅力をお話いただき、ご紹介するようお願いいたします。

神奈川学習センターの魅力!

その1 複聴学習室や実験室の施設が充実
その2 学生同士の交流がさかん

簡単に個人情報を保護できる
スタッフとエマールコーのセット!



手軽にステップ!
即日講座
機能付き
手帳が1
千円!



学習センター携え付けの
ご紹介用紙にご記入の上
事務室窓口へお持ち下さい。
センターから募集要項を
お送りいたします。
たくさんのご紹介お待ち
しております!

神奈川学習センターに入学希望の方をご紹介!
たださました方にいづれか「高アプレゼント」!
この機会に是非ご紹介下さい!

1,500円以上の送料!
無料宅配・保護袋付きバッグ



正業に於ける感度調整機能
付き手帳!



キャンペーン期間
平成26年2月26日まで
※プレゼントがなくなり次第
終了させていただきます。

放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1
TEL 045(710)1910 FAX 045(710)1914

学習センターからのお知らせ

◆ 面接授業科目の追加登録について ◆

平成25年度第2学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)。
追加登録の手続き方法は、「平成25年度第2学期面接授業時間割表」または「各学習センター」へお問い合わせください。

科目登録決定後に空席がある科目については、追加登録期間中に、科目の登録を追加することができます。

原則として、各科目の開講日の1週間前までに受付をしておりますので「仕事の都合が直前までわからなくて科目登録を見送った」方も、この機会を活かして面接授業にご参加ください。

<平成25年度第2学期 追加登録 日程>

空席発表日	10月18日(金)	
追加登録期間*1	10月～1月開講の授業	10月24日(木)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日*2まで (原則として開講日の1週間前、一部例外あり*3)
	* 2月開講の授業	10月24日(木)～1月19日(日)まで
*1 <u>追加登録期間前に開講する科目については、追加登録は行っておりません。</u>		
*2 各科目の追加登録受付期限日については空席発表時に、キャンパスネットワークホームページに掲載します。追加登録受付期限日の前であっても、定員に達し次第、受付を締め切ります。		
*3 <u>授業準備の都合上、追加登録を受付けない科目、または1週間前まで受け付けられない科目がありますのでご了承ください。</u>		

◆ 通信指導について ◆

平成25年度第2学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。11月5日(火)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)に連絡してください。

提出期間:11月13日(水)～11月29(金)大学本部必着

※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

(お一人ご紹介で1点プレゼントの「ご紹介キャンペーン」実施中です。)

【平成26年度第1学期入学(4月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:12月1日(日)～2月28日(金)

出願受付期間 :12月1日(日)～2月28日(金)

